



## 皆と同じ行動をすること～校長先生 朝礼講話より～

先週のニュースの中から、気になったニュースについて話します。それは、ハロウィンについてのニュースです。皆さんも、目にしたり耳にしたりしたと思います。私が子供の頃は、全く目にしたことの無い行事ですが、最近は、キャンペーンやイベントに取り入れる企業などもあり、この時期の風物詩になっています。先週のニュースでは、ハロウィンに集まった人の騒ぎすぎが多く取り上げられていました。渋谷の街では、10代20代の若者を中心に多くの人が集まり、様々な仮装を楽しんでいました。しかし、中には、軽トラックを横転させたり、酔って暴れたりする人もあり、警備にあたった警官に対する公務執行妨害などで逮捕される人もありました。このような迷惑行為をしている人々にインタビューをしている番組もありました。それらの答えは「いつもと違う感じが楽しい」「渋谷なら羽目を外してもいいという空気がある」「赤信号みんなで渡れば怖くない、みたいな感じなんじゃないですかね」など、聞いていて非常に残念な気持ちになりました。一方、黙々とゴミをかたづける仮装した人の姿もニュースになっていました。以前のW杯サッカーでは、日本人サポーターが試合の勝敗にかかわらず、観客席を来た時よりきれいにして帰ることが話題になりました。この行動が、他の国にも影響を与え広がっています。

さて、日本人の行動として、どちらが本当なのでしょう。「日本人は民度が高い」「民度」というのは、マナーや態度のことですが、そうではなく、「日本人は皆と同じ行動をする習性が強い」という意見もあります。皆と違った行動や考え方をすると不安になる。皆と同じ行動をすると安心する、落ち着くというだけである。本当に皆と同じ行動をすることが正しいことなのかをしっかりと自分の頭で考えているのか。W杯等の行動も、皆と同じ行動しているだけであり、本当に心や脳が働いて行動していたのか、ということなのです。

このことを学校生活に置き換えて考えてみましょう。給食の時、「いただきます」の前に口を閉じて話をする人の方を向くこと、だまって自問清掃に取り組むこと等、本当に自分で考え自分の意志で行動しているのか、何も考えず、皆と同じ行動をとっているだけなのか。あらためて考えて見てほしいと思います。

## 40周年記念クリアファイル

今年、弥富北中学校は、開校して40年目を迎えました。特別、記念の行事は行いませんが、40周年記念のクリアファイルを作成し、生徒の皆さんに配付することにしました。1学期に撮影した航空写真をデザインしたものです。来週、配付予定です。楽しみにして、待っていてください。

